

2016年2月

受益者の皆様へ

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

「損保ジャパンーDBLCI コモディティ 6」の新規購入申込みの停止等について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は弊社の投資信託をご愛顧頂き厚く御礼申し上げます。

さて、現在ご購入頂いております「損保ジャパンーDBLCI コモディティ 6」（以下、「当ファンド」といいます。）は、最近の商品市況の大幅な低下等を受けた結果、基準価額の変動がインデックスの変動に対して拡大し、また、管理コスト率も増加しております。

かかる状況下において、弊社としては当ファンドの購入申込みの受付を一時的に停止し、投資対象を変更する旨の約款変更手続きを予定しておりますので、下記の通りご案内させていただきます。

皆様にはご不便をおかけすることとなりますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1.当ファンドの特色

- (1) 「ドイツ銀行グループ商品指数(円建て為替ヘッジなし)」（以下、「インデックス」といいます。）が表す、商品（コモディティ）市況の中長期的な動きを概ね捉える投資成果を目指します。
- (2) 主として、インデックスの騰落率に償還価額等が概ね連動するユーロ円債（ドイツ銀行発行）に投資します。

2.当ファンドの基準価額の推移

2007年8月13日に基準価額10,000円で運用を開始した当ファンドは、2008年5月22日に14,340円まで上昇しました。

その後、商品市況低下により基準価額は低下基調が続き2008年12月には一時5,000円台を下回りましたが、2008年12月以降は概ね4,000円～6,000円のレンジで価格推移しておりました。

しかし、最近の商品市況の更なる悪化を受け、基準価額は再び低下基調となり、2015年12月以降は3,000円台を割り込み、2016年2月9日現在では2,250円となっております。

3.当ファンドの現状

- (1) 投資対象のユーロ円債は当初額面 100 円でスタートしましたが、商品市況の低下に伴い直近の時価は 23 円程度まで大幅に低下しております。ユーロ円債の価格が大幅に低下したことと、一定の管理コスト等 ((2) ご参照) が価格から控除されていることの影響から、直近では、インデックスの変動「1」に対しユーロ円債の変動幅は 1.7 倍程度になっており、当ファンドの基準価額も概ね 1.7 倍程度で変動する状況です。
- (2) 当ユーロ円債は、インデックス管理コストとして発行額面 100 円に対して年間 1 % (1 円) が徴収される仕組みとなっています。債券価格が低下すると管理コストの負担率が大きくなり、現在のユーロ円債の時価 23 円で計算すると純資産額対比の負担率は、年間 4.3%程度となります。

4.今後の対応

上記 3 の現状に鑑み、弊社としては、以下の対応が受益者の皆様の利益に資すると判断しましたので、手続きを進めてまいります。

- (1) 当ファンドの購入申込の受付を 2016 年 2 月 23 日以降、一時的に停止 (自動けいぞく投資による分配金再投資および換金は通常通り受け付けます) します。
- (2) その上で、投資対象を現在のユーロ円債からコモディティ価格に連動する E T F 等に変更する旨の約款変更手続きを予定しております。

なお、約款変更手続きについては、詳細が確定次第、別途ご案内させていただきます。約款変更決定後、弊社としては当ファンドの購入申込の受付を再開させて頂く予定ですが、販売会社によりお取扱いが異なる場合もございますので、予めご了承下さい。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント株式会社

電話番号 03-5290-3519 (受付時間:平日※の午前9時~午後5時)

※土曜、日曜、祝日、振替休日、国民の休日を除いた日